隠岐圏域　水害・土砂災害に関する減災対策協議会 （各機関における取組内容の詳細） 令和4年度～令和8年度

【資料２－２】

	主な取組項目	全体方針（5ヶ年）			目標時期	取組機関						備考
		対象		実施状況（方針）		海士町	西ノ島町	知夫村	隠岐の島町	松江地方気象台	島根県	
■水害・土砂災害リスク情報等を地域と共有し、命を守るための確実な避難の実現												
1	想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・周知	洪水予報河川 水位周知河川	（参考） 前期	洪水予報河川および水位周知河川の想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・公表	令和3年度まで						前期実施	
		洪水予報河川・水位周知河川以外の県管理河川	新規	R6年度までに全ての県管理河川に関する想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図を作成・公表	令和4年度 ～ 令和8年度						・R6年度までに想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図を作成・公表。	
					令和7年度 取組状況						隠岐地区の洪水浸水想定区域図の周知 【R5.12.26指定・公表】	
					令和8年度 取組予定						隠岐地区の洪水浸水想定区域図の周知	
2	土砂災害特別警戒区域の調査・周知及び指定	圏域	継続	土砂災害特別警戒区域の見直し調査・周知及び指定を行い、各町村へ提供	令和4年度 ～ 令和8年度						・土砂災害特別警戒区域の見直し調査・周知及び指定を行い、各町村へ提供。	
					令和7年度 取組状況						・2巡目基礎調査の実施	
					令和8年度 取組予定						・2巡目基礎調査の実施	
3	水害・土砂災害ハザードマップの改良・周知	対象流域	（参考） 前期	各市町村において、ハザードマップの改良・周知を行う	令和3年度 まで						前期実施	
		圏域	継続	現行のハザードマップの内容について、出前講座等で周知を図るとともに、新たに作成する浸水想定区域図等の更新および住民周知	令和4年度 ～ 令和8年度	水害 令和5年度末までに実施 土砂災害 令和6年度末までに実施	水害 令和6年度末までに実施 土砂災害 令和8年度末までに実施	・現状のハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知。	水害 令和5年度末までに実施 土砂災害 令和5年度末までに実施		・新たに作成する洪水浸水想定区域図及び土砂災害警戒区域図を関係市町村へ提供する。 ・最新のハザードマップを出前講座で周知を図る。	
					令和7年度 取組状況	―	水害ハザードマップの周知	ハザードマップ周知	・防災学習会やHPなどでハザードマップの周知を実施		・最新のハザードマップを出前講座で周知した。	
					令和8年度 取組予定	―	現行ハザードマップの周知	ハザードマップ周知	・継続して実施		・最新のハザードマップを出前講座で周知する。	
4	避難情報の発令に着目した水害・土砂災害対応タイムラインの策定	洪水予報河川 水位周知河川	（参考） 前期	水害対応（避難着目型）タイムラインを作成し、対象河川について運用 訓練の実施や実洪水等により適宜見直し	令和3年度 まで					前期実施	前期実施	・八尾川の水害対応タイムラインの作成 【H30.6.12】
		圏域	継続	作成したタイムラインについて、訓練や実洪水等により適宜見直し 土砂災害に関するタイムラインの作成・運用	令和4年度 ～ 令和8年度	・土砂災害対応チェックリスト等を基に土砂災害対応タイムラインを作成 ・実事象、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し	・土砂災害対応チェックリスト等を基に土砂災害対応タイムラインを作成 ・実事象、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し	・土砂災害対応チェックリスト等を基に土砂災害対応タイムラインを作成・実事象、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し	・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る	・タイムライン作成・見直しの際、防災気象情報を有効に活用する観点から適切な助言を行う。	・水害に関するタイムラインを実洪水や情報伝達訓練を通じて見直し。 ・土砂災害に関するタイムラインの作成・運用。	
		圏域	継続	作成したタイムラインについて、訓練や実洪水等により適宜見直し 土砂災害に関するタイムラインの作成・運用	令和7年度 取組状況	土砂災害タイムラインについて、各町村ごとの行動を整理、作成の上R7の協議会で暫定運用の承認を得る	土砂災害タイムラインについて、各町村ごとの行動を整理、作成の上R7の協議会で暫定運用の承認を得る。	土砂災害タイムラインについて、各町村ごとの行動を整理、作成の上R7の協議会で暫定運用の承認を得る。	・情報伝達訓練でホットラインを用いた通信を実施した	・タイムライン見直しの際、防災気象情報を有効に活用する観点から適切な助言を行った。	・洪水対応演習（R7.4.21）により水害に関するタイムラインを確認した。 ・水害・土砂災害に関するタイムラインの検討を行った。	
					令和8年度 取組予定	土砂災害タイムラインについて、各町村ごとの行動を整理、作成の上R8の協議会で暫定運用の承認を得る	土砂災害タイムラインについて、各町村ごとの行動を整理、作成の上R8の協議会で暫定運用の承認を得る。	・実事象、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し	・情報伝達訓練でホットラインを用いた通信を実施する	・引き続き、タイムライン運用に協力し、担当者会議及び減災対策協議会の枠組みで、振り返りのうえ運用改善について助言する。	・水害に関するタイムラインを実洪水や情報伝達訓練を通じて見直しを検討する。 ・水害・土砂災害に関するタイムラインの検討を行う。	
5	洪水時・土砂災害における河川管理者（気象台）からの情報提供（ホットラインの定着を含む）	洪水予報河川 水位周知河川	（参考） 前期	出水期前に情報伝達訓練等を実施することで連絡体制等の定着を図る	令和3年度 まで						前期実施	
		圏域	継続	出水期前に情報伝達訓練等を実施することで連絡体制等の定着を図る 【課題】 実施状況を記録として残し、タイムラインの見直しに活用	令和4年度 ～ 令和8年度	・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る	・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る	・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る	・防災出前講座により避難行動や情報収集手段の周知、啓発 ・広報紙への防災特集記事掲載による防災情報発信	・出水期前に、洪水・土砂災害に係る防災気象情報の発表・伝達訓練等を行い、連携強化による円滑な作業実施と連絡体制等の定着・充実を図る。	・出水期前の情報伝達演習等を通じて連絡体制の定着を図る。	
					令和7年度 取組状況	・情報伝達訓練、実事象でホットラインを実施、検証	・情報伝達訓練、実事象でホットラインを実施、検証	・情報伝達訓練、実事象でホットラインを実施、検証	・防災学習会：5回実施（自治会・学校等） ・「広報 隠岐の島 3月号」にて防災特集記事を掲載	・県と共同で「洪水予報演習（部外配信を含む）」や「土砂災害警戒情報伝達訓練」等を実施した。	・洪水対応演習（4/21）を通じて連絡体制の定着を図った。 ・洪水対応演習（4/21）においてホットライン訓練を実施した。 ・土砂災害警戒情報伝達訓練（6/5）を通じて、連絡体制の定着を図った。	
					令和8年度 取組予定	・情報伝達訓練、実事象でホットラインを実施、検証	・情報伝達訓練、実事象でホットラインを実施、検証	・情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る	・継続して実施	・県主催の「土砂災害に係る情報伝達訓練」に参画。また、県と共同で「洪水予報演習（部外配信を含む）」や「土砂災害警戒情報伝達訓練」等を実施する。	・洪水対応演習（ホットライン訓練を含む）令和8年5月13日に実施した。 ・土砂災害警戒情報伝達訓練を令和8年6月11日に実施する。	
6	避難情報の発令判断を的確に行うための水防情報・土砂災害危険度情報等提供の充実	圏域	（参考） 前期	防災気象情報の改善 水防情報システムの開発・運用	令和3年度 まで					前期実施	前期実施	
		圏域	継続	防災気象情報の改善 水防情報システムの更新・運用 土砂災害危険度情報の運用・周知	令和4年度 ～ 令和8年度					・大雨警報（浸水害・土砂災害）・注意報、洪水警報・注意報について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。土砂災害警戒情報についても島根県と連携して評価・検証を行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。	・水防情報システムの運用・周知 ・土砂災害危険度情報の運用・周知	
					令和7年度 取組状況					・大雨警報（浸水害）・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行った。土砂災害警戒情報についても島根県と連携して評価・検証を行った。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開した。	・水防情報システムの運用・周知を行った。 ・水位計等の保守を行った。 ・土砂災害危険度情報の運用・周知を行った。	
					令和8年度 取組予定					・大雨警報（浸水害）・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。	・水防情報システムの運用・周知を行う。 ・水位計等の保守を行う。 ・土砂災害危険度情報の運用・周知を行う。	

	主な取組項目	全体方針（5ヶ年）			目標時期	取組機関						備考
		対象		実施状況（方針）		海士町	西ノ島町	知夫村	隠岐の島町	松江地方気象台	島根県	
7	水害リスクの高い箇所を監視する水位計等の整備	モデル河川	（参考）前期	モデル河川において、危機管理型水位計を整備	令和3年度まで						前期実施	※春日川（布施）に危機管理型水位計を整備し、H31．3．20運用開始。 ※諏訪川（芦田橋）に河川監視カメラを設置し、R5年3月から運用開始。
		県管理河川	継続	浸水被害が発生するなど住民の避難行動を促すため、新たにカメラ等を整備	令和4年度 ～ 令和8年度						・市の要望を踏まえ住民の避難行動を促すため、新たにカメラ等を整備	
					令和7年度 取組状況						―	
					令和8年度 取組予定						―	
8	住民の水防災・土砂災害意識の向上に資する出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及や訓練	圏域	（参考）前期	出前講座の開催や広報誌等により防災知識の普及を図る	令和3年度まで					前期実施	前期実施	
		圏域	継続	出前講座の開催や広報誌等により防災知識の普及を図る 出前講座等を活用し、マイタイムライン等の普及を図る【追加】	令和4年度 ～ 令和8年度	・防災出前講座により避難行動や情報収集手段の周知、啓発 ・広報紙への防災特集記事掲載による防災情報発信	・防災出前講座により避難行動や情報収集手段の周知、啓発 ・広報紙への防災特集記事掲載による防災情報発信	・防災出前講座により避難行動や情報収集手段の周知、啓発・広報紙への防災特集記事掲載による防災情報発信	・防災出前講座により避難行動や情報収集手段の周知、啓発 ・広報紙への防災特集記事掲載による防災情報発信	・出前講座等により防災気象情報の入手・活用方法等を周知し、防災知識の普及・啓発を図る。	・出前講座により防災情報の入手、活用方法等を周知 ・広報紙を活用した防災情報発信 ・出前講座等を活用し、マイタイムラインの普及を図る	
					令和7年度 取組状況	・自治会主催による学習会や訓練等にて防災情報の提供や啓発を行った	・防災出前講座開催、広報紙掲載	・防災出前講座開催、広報紙掲載	・防災学習会：5回実施（自治会・学校等） ・「広報 隠岐の島 3月号」にて防災特集記事を掲載	・自主防災組織リーダー研修・佐田地区防災訓練・沢谷地域連合自治会・防災士養成研修・宇波地区自主防災研修会等で出前講座を行い防災知識の普及啓発を図った。	・出前講座により防災情報の入手・活用方法等を周知した。 ・広報紙を活用した防災情報発信を行った。 ・出前講座等を活用し、マイタイムラインの普及を図った。 ・隠岐の島町の小学生5年生を対象に防災学習会を開催した。（R8.2.12 中条小学校、西郷小学校）	
					令和8年度 取組予定	・学習会や訓練の希望があれば、実施について引き続き協力を行う	・防災出前講座開催、広報紙掲載	・広報紙への防災特集記事掲載による防災情報発信	・継続して実施	・依頼に基づき、出前講座等の実施や各種訓練に協力する。	・出前講座により防災情報の入手・活用方法等を周知する。 ・広報紙を活用した防災情報発信を行う。 ・出前講座等を活用し、マイタイムラインの普及を図る。	
9	水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所の共同点検	県管理河川	（参考）前期	出水期前に関係機関での重要水防区域、危険な箇所の情報共有と共同点検の実施	令和3年度まで						前期実施	
		県管理河川	継続	出水期前に関係機関での重要水防区域、危険な箇所の情報共有と共同点検の実施	令和4年度 ～ 令和8年度				・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・町・消防団等と共同点検		・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・町・消防団等と共同点検。	
					令和7年度 取組状況				・出水期前に八尾川、重栖川の重要水防区域について県と合同点検実施した【R7.4.25】		・出水期前に八尾川、重栖川の重要水防区域を県と町で合同点検を実施【R7.4.25】	
					令和8年度 取組予定				・出水期前に八尾川、重栖川の重要水防区域について県と合同点検を実施を目指す		・出水期前に八尾川、重栖川の重要水防区域を県と町で合同点検を実施【R8.5.11】	
10	水害・土砂災害危険性の周知促進	圏域	（参考）前期	過去の浸水実績等の周知	令和3年度まで						前期実施	R2・土砂災害特別警戒区域基礎調査結果をを町村へ提供
		圏域	継続	出前講座等により過去の浸水状況を周知するとともに、浸水想定区域図やハザードマップ等を活用した水害・土砂災害危険性を周知	令和4年度 ～ 令和8年度						・出前講座等により過去の浸水状況を周知するとともに、浸水想定区域図やハザードマップ等を活用した水害（土砂災害）危険性を周知。（島根県河川課）	
					令和7年度 取組状況						・出前講座等により過去の浸水状況を周知するとともに、浸水想定区域図やハザードマップ等を活用した水害（土砂災害）危険性を周知した。	
					令和8年度 取組予定						・出前講座等により過去の浸水状況を周知するとともに、浸水想定区域図やハザードマップ等を活用した水害（土砂災害）危険性を周知する。	
■要配慮者利用施設における確実な避難												
11	要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施の支援（水害・土砂災害）	圏域	（参考）前期	浸水想定区域図内の要配慮者利用施設の見直しを行うとともに、出前講座や避難確保計画作成・訓練実施等を支援	令和3年度まで					前期実施	前期実施	
		圏域	継続	新たな浸水想定区域図に基づき、浸水想定区域図内の要配慮者利用施設の見直しを行うとともに、出前講座や避難確保計画作成・訓練実施等を支援	令和4年度 ～ 令和8年度	・平成29年度施設管理者宛計画作成・提出依頼 ・随時面談・電話による作成相談を実施 ・提出された避難確保計画について点検し、修正の助言を実施	・平成29年度施設管理者宛計画作成・提出依頼 ・随時面談・電話による作成相談を実施 ・提出された避難確保計画について点検し、修正の助言を実施	・平成29年度施設管理者宛計画作成・提出依頼・随時面談・電話による作成相談を実施・随時面談・電話による作成相談を実施	・平成29年度施設管理者宛計画作成・提出依頼 ・随時面談・電話による作成相談を実施 ・提出された避難確保計画について点検し、修正の助言を実施	・要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施を支援し、防災気象情報を有効に活用する観点から助言を行う（水害・土砂災害）。	・施設管理者向け説明会の開催 ・モデル施設で作成する避難確保計画を協議会の場で共有	
					令和7年度 取組状況	・実施の実績なし	・作成支援	・作成支援	・実施なし	・益田市生活支援体制整備事業研修会で出前講座を実施。	・説明会の開催及び支援の要請なし	
					令和8年度 取組予定	・作成支援を行う	・作成支援	・作成支援	・施設管理者への周知を促進する	・引き続き、避難確保計画作成等の支援を行う。	・説明会及び避難確保計画作成に協力し、助言を行う。	
■被災すると社会経済に大きな影響を与える施設や基盤の保全を図る												
12	河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	圏域	（参考）前期	通水を阻害する堆積土砂や立木の情報を河川管理者と共有し、計画的に撤去等を実施	令和3年度まで						前期実施	
		圏域	引継	通水を阻害する堆積土砂や立木の情報を河川管理者と共有し、計画的に撤去等を実施	令和4年度 ～ 令和8年度	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施		・通水を阻害する堆積土砂や立木の情報を河川管理者と共有し、計画的に撤去等を実施	
					令和7年度 取組状況	・県と調整し、施工が必要な河川等があれば対策を行う	・県と調整し、施工が必要な河川等があれば対策を行う	・県と調整し、施工が必要な河川等があれば対策を行う	・県と調整し、施工が必要な河川等があれば対策を行う		・河道掘削、立木伐採について、巡視・点検結果、地元・町の要望を基に優先順位を決定し、実施	
					令和8年度 取組予定	・県と調整し、施工が必要な河川等があれば対策を行う	・県と調整し、施工が必要な河川等があれば対策を行う	・必要箇所の洗い出し	・県と調整し、施工が必要な河川等があれば対策を行う		・河道掘削、立木伐採について、巡視・点検結果、地元・町の要望を基に優先順位を決定し、実施	

	主な取組項目	全体方針（5ヶ年）			目標時期	取組機関						備考
		対象		実施状況（方針）		海士町	西ノ島町	知夫村	隠岐の島町	松江地方気象台	島根県	
13	市庁舎等の災害拠点施設の自衛水防の推進	圏域	（参考）前期	浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対し、情報伝達体制や方法の情報共有 浸水想定区域内の市庁舎の機能確保に必要な耐水化、非常用電源等の対策を実施	令和3年度まで						前期実施	
		圏域	継続	浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対し、情報伝達体制や方法の情報共有 浸水想定区域内の市庁舎の機能確保に必要な耐水化、非常用電源等の対策を実施	令和4年度 ～ 令和8年度				・洪水浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対する情報伝達体制・方法の情報提供 ・洪水浸水想定区域内の庁舎の機能確保のため、耐水化・非常用電源等の必要な対策について、情報提供		・浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対する情報伝達体制・方法の共有。 ・浸水想定区域内の庁舎の機能確保のため、耐水化・非常用電源等の必要な対策について協議会で共有。	
					令和7年度 取組状況				・実施なし		・必要に応じ対応	
					令和8年度 取組予定				・必要に応じ対応		・必要に応じ対応	
14	土砂・立木対策の推進	圏域	継続	毎年度継続実施	令和4年度 ～ 令和8年度						・土砂や流木の流出による被害の危険性が高い渓流において土砂・流木の捕捉効果の高い施設整備を推進	
					令和7年度 取組状況						【島前】 ・中別府川（西ノ島町　別府）工事用道路 ・倉ノ谷B川(西ノ島町　宇賀）用地測量 ・太井谷川（西ノ島町　美田）測量調査設計 ・福井谷川右支渓（海士町　福井）堰堤概略検討 ・河井川（知夫村　来居）堰堤工 【島後】 ・西の谷川（加茂）用地調査 ・松田尻川（小路）堰堤工、舗装工（管理道）概成	
					令和8年度 取組予定						【島前】 ・中別府川（西ノ島町　別府）　工事用道路、堰堤工 ・倉ノ谷B川(西ノ島町　宇賀）　用地測量 ・太井谷川（西ノ島町　美田）　用地測量 ・福井谷川右支渓（海士町　福井）測量調査設計 ・河井川（知夫村　来居）堰堤工 ・河井川左支渓B（知夫村　来居）測量調査設計 【島後】 ・西の谷川（加茂）用地買収	
15	排水施設、排水資機材等の情報を共有	圏域	（参考）前期	排水施設、排水資機材等の情報共有 河川管理施設、河川占用施設の適正な管理と点検の実施	令和3年度まで						前期実施	
		圏域	継続	水防計画や関係機関との連絡調整会議等により、排水施設や排水資機材等の情報を共有	令和4年度 ～ 令和8年度						・排水施設、排水資機材等の情報の共有。 ・長期にわたり浸水が継続し重要施設（市庁舎等）が在する地域において排水計画を作成。	
					令和7年度 取組状況						・令和7年度島根県水防計画により排水施設、水防資機材等の情報を共有した。	
					令和8年度 取組予定						・令和8年度島根県水防計画により排水施設、水防資機材等の情報を共有する。	
■他機関との多角的な連携												
16	他機関と多角的に連携し、地域を挙げて防災意識の向上を図る	－	－	－	令和3年度まで							
		圏域	新規	協議会の内外問わず、他機関と広く連携した取り組みを推進し、相互に認識を共有のうえ地域防災力の向上を図る。	令和4年度 ～ 令和8年度					・各市町村の防災対応について、専任職員「あなたの町の予報官」が、平常時からきめ細かく支援する。 ・報道機関等部外との懇談会・打合せを定期的に開催する。 ・地方公共団体における防災担当職員等養成の一環として、依頼に基づく助言・講演や各種ワークショップを開催する。		
					令和7年度 取組状況					・島根県内市町村防災担当者向けに、「あなたの町の予報官TV」と題した情報提供コンテンツを、毎週金曜日夕刻に「youtube」にて配信。週末にかけて、県内の気象に関する留意点等を動画にて平易に解説（異常気象が見込まれる際は、臨時配信）。 ・Web会議ツールで「報道機関との懇談会」を鳥取地方気象台及び島根・鳥取両県内の河川・国道事務所と共同開催し、報道機関に、水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知について連携を強化。 ・島根県CATV協議会と定期的（年4回）に番組制作を実施。		
					令和8年度 取組予定					・各市町村の防災対応について、専任職員「あなたの町の予報官」が、web等も活用し平常時からきめ細かく支援する。 ・報道機関等部外との懇談会・打合せを定期的に開催する。		